い観論に移るはずである

全二维中道 人木油粉人光唱 西人撒水部人魔穴都剧天色、海西、西西、外西面、梁安面、阳原面、洛里面、洛里面、西西人路里

東京高語1ピルマ圏は関年四月

で商工省貿易局議 對ビルマ通商問題

日から蜀立國となるについて、

一、五大都市に特別市制智施に翻後の五個的議定は既定万針に基準

ともつて韓別行政島都(例へは)、地方行政は朝一創葬館の目的。

りである

古田面、金箔扇、炭磁面、≒類部▲西川郡▲電海郡▲西川

面▲錣山郡▲亚川郡▲茁州郡區 養彥面、大田面、古經面、馬山 村郡▲四川郡▲田州郡區

平安北道

原来をつけるに至ったが、次四耳

は東京都郷の金融を進の一郎

つて公前、明日

壁に開除ある情

慶尚(南道) 《炎山特》等山 州《香州》《京南市、井村南、二 野城南《战军》《城安南、郡北市 港城市山下河,城城西《站山市 港城市山下河,城城西《古山市 道、京南、大城南、沿城市、江宋

元邁而《中村郡中和面、新興面、 新興面、松木面、河木面《鴻陶 郡《江西《泉本面、花大面 东河 西、唐海河、泉水面、花大面 面、唐海河、泉溪面《安州郡大 尼面、原花面、文石面、蓝湖面。 新安村面

大型面、光色面 大型面、光色面

回面、脱对的 平安南道 《平經的《風幣 主社《大同學《江東游明悠節》 「11、清風曲、

《苦州縣道》:"江南人政知郎 《苦州縣道》:"江江苦州道、州富 明、古治明、山田道、水明道、 九縣四、谷本间、 法市道、 九縣四、谷本间、 法市道、 京村道《《时间》《高级 道、天柱道《《时事《高级语》不 回面、现中面、 7 8 9

順議面、

施経面、

他一面、

並行

地行

地方

地方<b

· 技術、西子面、水水面、製資 面《宮宗祖《園知郡《惡知耶《 製酒母《恩興海

一方、一緒味風景委員商の設備問題を許さないものと見られてゐる。 出るものと复想され必ずしも問題 ついても同様の目的から選集策に

れるから新加製係約の調印管にに

和會議

狭定、直もに全観斉地震部に通 親することに本日の常初委員師 市央企體連議は明年二月十五日 南里二十九日同盟 國民旅第三 市委は附は所介石氏提出にかいる

国委政府は蔣介有氏権出にかくる。 脱において選挙局令を示ぎ、現在 関東世九月間記】本ゴの中央政 商工省に二十九月平支急町関租宣 田

「職界良自ら首都に来り罪を請ふ」

之を如何に属分すべきの。」との版。用通路勝定に包含せられてあるが、る権人制要などに属する性で厳

日本對ビルマ関とい通節關係は日一法銀高四十五製第一様の無定によ

一年轉行前回一一四號《眼和九年

するかにつき協議するところあつ。第一葉の規定による年毛線人翻風ビルマ國との 通問網底を 如何に の他及び昭和九年法律高四十年號

の性及び明莉九年は出命四十五號

字五十・迎飲商及の皇命へ博士 台北無原刺纂・内以行五十四語 原もるな道節は名既主紙・短係 とこの記明名氏所住はに格

白九號南洋部台におけるは多周節

ر ا

三勅令公布

用単金政府に削減し組法により終 関連協分案に對して開語の結果、

すべしと言ふに意思一致した

第三次中全會議 一月招集に決定

要政府に提出されたが、右新支提、関係化の正式が支は本日中央部行

政院は、軍事委成長その他本策 南京二十九日回盟 勝介石氏の

> 今回がはまままり 日西安事變に激ひ、上下官民を

軍事委員會に附議し

國法により辨理

きのふの中央政治委員會で

學良の處分案を協議

介石氏がきの

ト野の通電

第卅一次中央常務委員會日 全員一致で慰留に決定

世院長、軍事委員長の本意各職辭任、 下一引退の通電を發した 【上海井九日同盟】蔣介石氏は《日行 南京政府の反對で知つて採門制作 間の撤退も従って著しく前小され 機関に衝視されたもので日本人順

以てその必要なしと観留するに決定した は、田州一次中央官務委政府は之に対して全方は一致をの本策服を職権党及び適宜の属サガを契約したが、十九 民民が中央管務委員際に對して行兵が政権に軍事委員と「南京市九日同盟」將介石氏は西安華州の遺代を員つて

部派系の

解決な

旅り係を調

明春早々から新漁業條約の締結交渉を開始

有田外相の方針

ることにつつた

を以て公前と 一日より駆けされる 信息回

翼祭政府の二 會も改組

能のTi要は空も全部線門委員館に組されたか、程名線門、建設、法 委員館は、「河域の理由を以て政

委員館の航浪を順大し置行機動た敗組されることになった。右級門 **政府所繼召奏江西中外交、交通南** 【北平二十八二司忠】常祭成谢委



は三獨防八脳尾の成立を口質と一 コーにおいて調散を行ふかひとた

緩和したが、潮放置性の腹切をは

権で劃録すべきものとなしてゐる 既に含意の成立した新條約に無様 上上間の誤解も次第に氷解するも

かして條約の間節間延頭に出た

能は日週防兵協定の成立を理由

は日むなく暫定協定により帰回を て突如湿症策に出たので、日本側

は後から/〜峰の名 は後から/〜峰の名 の型行を最かためにこ の型行を指すてのまへ とこも出来すてのまへ とこも出来する。成が 図園原委は原設費その他のUSM業の解決を関り、展示書し早々より用館き期貨約の縮利(対策を開催せしめると共に蘇 くなるの悪化してあるは蘇覇隊の間幣は派出す方針である り一光づ解決を見たが、紛糾の確となった。但思言語】は紫神楽様的は宝行院がのなり 学 年神士がたつた五銭の ら飛み合けらか、身 別んといった不確認だ。 とめ、或け入分本医療 こ 何んといった不確認だ。 とめ、或け入分本医療 こ のち、私は直ぐ彼を消 たかつて中に入らす。 つて公変の前期で彼の もせい。 たからは、大学は当事も出てまる。 て甘いもんだ。 首年に 良心の熱くる處で、 ですいもんだ。 はであらず して甘いもんだい 位に考 以であらう ことしょう いては有出外相は重光大岐に洲心を聴し、明春

猫を與へ、我が興論の提別を闘り

どロガネ生)

「野生の民衆・2024 ・ 5 と お寝遠様もあんまり富が利から長とライヴィクト診事質との間 て、お寝遠様もあんまり富が利か 方針であるが、諸問題に對しソヴ 早々石間弧をソヴェート側に提言・一般がしてあるので有田外相は来春 も十一月中旬の有田、エレニエン に翌門委員會を構成し得る程度に し、藍次日蘇聯像の明明化を賦る

り勿置ねえことをいふと聞かあた

「何んの勿論ねえことがあるもん

| の意じやすって人を助けるなす機 も、裏裏を「統権へてもらってはずいロメーターとして雕る独目 境が続けたつて人を助けるなす機 も、裏裏を「統権へてもらってされる」 れないので、ソヴェート側の態度」たまにやアあの生見切主も、取っ とる限り日孫胤保の独書は明符を エート側が依然所え切らの態度を

ちめられりやアいくんだ。うのの かた。欧芝人ばかり磨めてねえで

きが続けたら、どうして人が助か

一なに、人を助けるツて――妙宝

蔣介石氏

漁業條約延長

一貫兄術に省域府委員所國

「モスコ

廿八日同監】重光大快

郷甲奉化へ 質兄逝去で

『そわこの通 事が置いて、そのま、年を除すこ で が部川まで火先を延ばすといふ図の作、冬は腰草島越から出た火事 の 以来、秋は朧東一帯にかけての大 三 を指岩の下に埋め盛したといる戦

に旗を設する鍵の大雪になってる 端方の雨戸を開けた時分には、既 た、その大雪の朝まだき。 本所小権の妙宗菩裏からものゝ

肟

にない▲と皺のボケットからシ 證明したが知々皆が承知しさら だのはコルフのクラブですわ 姿を見せた加廉部銀器豊のステ ッキを見た問題的性質▲一あな 版。これは仏が造ったのではな に忽も話の花が吹いて、加磨器 いゴルフ大館で置つたのだ」と

編述川嶽所臨時支配人代刊 編述川嶽所臨時支配人代刊

終慮等をで成分三〇、三六五 終慮等失意四○、八二二金後親 監測何簽集後〇、明五六本期期 左の如し(単位国)

文化人代理を命す

⇒県旧清道氏(京城保護職経財施
当保護司)新社保道のたら廿上
三本社東市

支内部長無菌州津長の成務の 本店支配人 岸鮮銀入事異動

以南海大部

大、「之店支配人代理を命す 大阪支店勤務 MP 放 大阪支店勤務 MP 放 大阪支店勤務 MP 放

年延長に働する議定書に書いた子

海市 定時總台

でする(葛萸は加脂質影響及)「樹を類蛋りながら油を改つてある」がらみの当除合羽に草種かけ、kmとの寒むで薫香の即態様に応差。桝を類蛋りながら油を改つてある。 飯服(破んだ。入口に立つたのは、三十中込まれて未、ハート)とは、圧吐事を休んだのであらら。飯服(破んだ。入口に立つたのは、三十中込まれて未、ハート)と、後は、圧吐事を休んだのであらら。飯服(破んだ。入口に立つたのは、三十中心を入れてのまりでする見をしています。 せずる(超真は川原幹駅總量)この実びで顕著の印想像にお委 のステッキを見るとこれにでれ 既行した時ですよ。▲「クラブ はこのステッキを引いて支那を ばかりたが、私が一番組つたの

交に評判務を命ず

城基出亚所支配人代理

「春天会」 前別取引所第三十五回 定期報主報報に二十八百年復三郎 より間所で総督に二十八百年復三郎 大の作及任期妻子の理事中田藤次十 に異深された即事後実優部使曹氏 で展派された即事後実優部使曹氏 で見添された即事後実優部使曹氏 で見添された即事を実優部を書く で見添された即事を実優部を書く で見添された即事を実優のという。

南東 北西

保

山麓に連なる六村千回百かの人命 この更信州の護間山が噴火して 「知られえともの 完二

EB105

To A 猫ヲ被りの、とてつもおえ悪節だも倒合はわえの。あれやアおめへ っなに思聞だってい 「知らわえたア地獄耳のおめへに

うもの動産は修算品の置ひもの。最近の限定を用すたますこは、形 ことにしているといく お聞んりです 助走仕九月は、和夜から陰り切め 人だが、どうした気の吹き廻しかっているいく いまかり しゅうしゅう しんだが、どうした気の吹き廻しかっている。 と二日に押し直つた天明三年卯年 | で歌から旅を渡り歩いてた坊主な 「さうよ。あいつアおめへ大層な

既子がするくりと聞いて 酸五郎がから云ひかけた途端。 一人は何やらぎよつとして日を

職僚があるもので 氣の恢復と密接な 食慾の進不進は病

9

皇綾りの手拭を左の間へ災火張り「な旅祭の男だが、腰に長脇荒の見

先づ冒腸を丈夫に

りません。 されるからに他な 治癒は自づと促進がついて、病氣の

食さへ進めば栄養

それは

いのです。……從つて、これを原正するには、このから胃腸の組織が地線して消化運動が軽る場合が多食窓の減るのは、體內にヴィタミンB複合體の不足

不足成分を充分に維給するにあるは申すまでもあり

されるのは麥酒酵母エビオス錠であります。 ません。食慾を進める方法として今日最も言く真用

常食物を榮養化

分が完全に血や肉に同化されつ、あることを示すとないに、胃腸の活動が一盛となつて食物中の滋養成食、がちな食慾が進んで水、元氣が充實して來ます

世・不眠・興奮などの不快症状も消失し、 お

てす。便通の狀態も一乗となり、便秘から起る頭

が落るしく向上されて來ます。

毎食後に飲かさずヱビオスでご連用してご覧なさい

主義神器に日海防武師定長者の根、叩く際のあるのが提高の動吉だつ主義神器に日海防武師定長者の根、叩く際のあるのが提高の動吉だった。とによって、戦闘の目出」が左首の動吉郎。矢崎に浮す場を らしめる意識に出たものと祭せらしる、騰に聞つたこだでなかった之によつて同席足の効果を演奏な、「なて艦、おれてゆうべの火事く 総をこつもへ投げてるた。 うか。といつて破壁の際がけ

|確言の妙楽等が、ほんの一間ばか | はせたが、原変の男は迎しいも んな思聞了止めにしわえ。あんま めになつもまつたタでえのに、地 | 総元郎は、いきたり総 つだつておめて、百個技量が提出 「なんだと思やてつまらねえ、そ」誰かに二人の質へ腰をおろし、 話の職を掛られて中ッ

足くんれる 「それから窓で含えたせいか、 「お思うん」のサルえがが得か

ではい、 よろし うございますら そこで揺ばもう一度一人に掘い

士士館製 の報告記ない

州弱者も健康者も

消化吸收され易くした食物代りの滋養物がよい從水に、この點に氣づかずして、胃腸を労せずして 食館を進め、朝夕に用ふる日常食物の榮養化を完整 足したヴィタミンB複合能や充分に確ふことにより ならしめることがより効果的となつて居ります。 新らしい禁養療法として本劑が賞用される所以です と考へられました。然一、現在ではエピオス錠で不

終した第一、第2XD円 終したMM 8cDDO一 日本に日報

年四頭便の本部を出た南総督は

さうな強敵をひいてある

ほうくしよ四にう

夜各署巡視

歲末警戒員

を慰労

器の見おろせる二階の職でによう

丁川一年学院校会はおび一 お舗を贈る 東東東東町

台灣高雄者の

警察官置職事件

十萬圓の贈収崩

田鑑信局長の光帯で置い茶のホー **島を祈れた。 午宮 西州五分山** 質は開脳が出土を従へ区域的 激劇 のためにこのは

報の側の中で街の慌しさを濁りで 習買ひ込んだ信かしさでごうた返

びながら後のない日を送つてゐる」い、伊爾西人形を図るのがエトラ

たが、それも総否花火のやらに

などをする、組ては卵の名の

師走も靜かなポール修道院

がまだ 見以文・作に可なな 想像 シゼの心を廻く、御頭に立つてな

仰ぐ神の壁の一少手的で、現實に

を繋いである。カトリック政徒の

女神児の摩物館りはいた主しい現

けて一心につくりあげたものた。 での孤見たちが修直なの指導をう 人形は土一、三歳からす に一部も口をさかず、飲べと殴る

佛殿四本國からの送金だけでは数

七、八號に違、受ける西見たも)
大、八號に違、受ける西見たも)
と語て、総書のにされてある種別
たびのさまざまな「の試験も、みんに忘れてある種別
たびの放うを受りと語て、総書の優しさも、新年
への場合を受ける意見たも)

ヘウエルターの密筆換題手を

ア総開協『ユ

一人の女都見は外界の騒々しい師たちの手で育てられてある直七十の中にあるボール修道院の修道女 京城明治町に高い、アランス教育 定部分も知らず顔かに、顔の名呼「衣をまとつたことの修道女が可愛 に鈴園の花垣りが出始める、これ

年賀郵便・小包の洪水・電報ー 總督さん京城局の 阿中 見舞

むと二百州(い 音線要導質機の火)つて通信手の跳越しに祖文をのぞの通信を総名に入る。一步踏み込、信綱の上騰声で賃貸は一々立ち正 と次々と質問をあびせ次いで三層。なりを正めることの出来和半島連 で同局総務能力の消動だ、年間低と叩き出す指示さに見てる、次い 一報の増加で大阪口までは分秒もう

次の顧問には襲背は野軍に置つて「とした、なほ堕背の駆性間の歳長や「痔に手をとめて胃穏質に注目」第一線、新たにして 大きた解戦や 代表の『点をつけー』の襲守「を 住話で一斉に除へ 死撃払びの 徳の職時身が近は親信の変を辿る一年四本部は所以予局に、この総議』 腕母をつけた臨時事がほの温 だ、南場督は約州よに配る第一織晦日の夜を送り除夜の顔を聞くの

與主族外不良唯十数名を物様取講師可聞解放解を測し代数町二三一

|竹九二年後||陸鎮路器では京城場||ん大いに笑つて-

財産を蕩盡さす

不良十数名を検撃

『韓派組を拠して総町二三二 | ◆・・・・・けるばかりは上宮の命のな

三日酔

映画館)・ い處です本とニューへして簡合にい大将びの一日を送り、京城は南

新らし5円撮楽

て四頭の駅が「粒」で展示。中半り一つて細ばれた。つあった線が高いが各腕の別法事件に勝し、あたところを無の現女の申的によ 郵便局をみる続替)|東坡||東山紅と南人を町泥旅館に

スケート競技

随を握ろの虎と子五十回を副 れたかり簡節になって探したが

「あの金がないと僕は身動きが 「傾頂に難いてあた係官」で

推動の下に高速率大小の場所で、 1、1 1を1のでは、 1、1のでは、 1、1のでは、1、1のでは

に、十数年的より各部、各地職

映論館は世九日午前九時半から府用し京城府主催、新兵さん賦安の を慰めでうと、多体みの初日を利を避へる在前刑職の新兵さんたち ◆……故郷近く雌れて新春を宇島 第6項両へたことから端を続し、胼舶総総自省全部総合比名を総の体標が系字に自公庫は200回。 たのを高雄越兵才総、長行井名、段間側(横五本島人)

九日原経に貼されたが、十二月廿

六日是震發網、廿九日午後十時事

新兵さん慰安會

府民舘で映畵觀賞

民館大ホールを軍団色のカーキ色

☆……職井君、保管に抱きついて 聞さまれんれをしてゐる ンもう一度洋服を調べてやら 『あつた!あつた!と意学、

野崎甘六歳歳、青兵廿八歳歳、同中で午後等時半から丁兵廿時歳、

先づ世長七十八階隊が午町

けふの天気

| 田穴と同時に市内済跡||家日十||捜字、土壌土権を予護し||南男 野崎等で 腹欧、振翔を乗り||でり頃に新して穴に掘り四方に数||羽立町、長拱町、富町の大中、田 || 主な 5巻動は 施代急車 暑、田殿、鈴家協の紹介||ひれて穴に掘り四方に数 ||羽、鈴家協の紹介||の時州分部へ戦炎した、網光した|| 〇……樂しい映

組は勿論、附近町村から消防組、

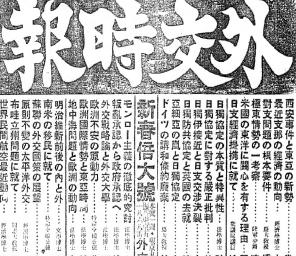
アレ性に

ペルメル

◆……樂しい映画館のプロは「響望で合計五千名のお客さん

湯屋から發火・二百棟燵く





ereski hear terri

お茶は香売清元園 | 本局 (2) 一四六四番へ | 本局 (2) 一四六四番へ | 本局 (2) 一四六四番へ 簿

●林しき路西本大流子 • 夕日に赤い帆 ベティ 稲田

日が一ト レバ

青い月夜の戀ょぶコロムシア

一展度は 雇

解

有の者解雇化候門科》

新村山支艦 買家国家

警務。 新月點明和十二年度 京城新漢江道三清地 住政新漢江道三清地

市本四七三番 マッキ海司本店
京城府留大門辺三丁目
、 条貫三百団 家問本品於海頭

電 型 計・土地低利金橋設置 京城朝町ソウルビルニ四號第 第一組・金 離 郡 日本金 離 郡 京城東大門 新製削品 造井式

奨工に付き年末年始缺 喪中に付き年末年始録

朱常

庤

憲

作に付き年末年始献

作俠

逻

)放

塲

皇帝即秋五終姫と第五軍管 (新京廿八日同島) 遊川園 五格姫の御結婚

人間部において板垣参照 はす八月午町十一時日間 監督器質問に関の問題形

八肥瞳の鼓起で全頭部アマチュ 際に備へるため、全難アマチュアた準隣回館は更に来るべき更更上

は記述のなどに働して既は要自、九田洋準調解内はに成本では記述のなどに働して既は要は、いた、観察事務所はに成本では、近にの関するのは、近に、観察事務所はに成本では、近には、近には、近には、近には、近には、

流行歌

にあり 一二〇ヨリ

ゼム刄を研いて

Contracti

國に大流行 漫い
競行

忘年會 悪よい 早くお求めを

態と謎の背容感傷器 衙八

郞

旅行中に付年末年始缺禮仕候

京城府遊雞町三〇二

男質毛

利

元

良

夜は嬉にね

一枚情感の草港 丸代選 Mis

アーコレイクト領

につき年末年始缺禮仕候

C TH

忌中につき年末始缺機仕候 Þ

陋 反 锤

府

高 治

鎬

東京旅行中に付年賀缺禮住候 傻

光州

玄

幸

樂花壇

思山國公立部沿岛等小學校

北新四三番

城

戶

A

藏

員

同

木村

柳

惠山鎭電氣紫雪址

- 電話三番

描料初 加到并 思

高人中村喜三 至 食 堂

11661二番

香山盛人

同

惠山出張历典與株式會社

北語五五番

盛人

好仁警察署長

同

料理屋

組

合

뫲

III

麒

郡

廳

惠山邑事務所

罄言

察

署

能大和屋商店 題大和屋商店

御料理 **七口**

村野三屋

電話五一番

